



日本最高峰の トランポリン競技大会

四日市市総合体育館で開催！

トップレベルの選手による ダイナミックで美しい演技

令和2年10月31日(土)から11月1日(日)にかけて、第57回全日本トランポリン競技選手権大会(三重とこわか国体トランポリン競技リハーサル大会)が四日市市総合体育館で開催されました。

東京オリンピックへの出場が内定している選手も参加するなど、トランポリン競技では日本最高峰の大会で、予選を勝ち抜いてきた選手達が日本一の座を狙い、ダイナミックで美しい演技を披露しました。

大会運営には、ボランティアも携わるなど、来年の三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて、機運を高める大会となりました。



感染症への対策も

会場では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、間隔をあけて観客席を使用したほか、選手、大会スタッフ、観客など、大会に関わるすべての人が、マスクの着用や受け付けでの検温・手指消毒を徹底するなど、さまざまな対策を行いました。



観客席



総合体育館(アリーナ)



来場者の受け付け



この本で、「四日市」というまちがあつて、
日本全国いろんなまちで暮らしている皆さんと
同じ生活が営まれていて、
「鈴鹿山脈もあるし、
夜景がいいんだって?」
という感じで、いろいろな四日市のことを
知っていただけたらうれしいなと思います。

伊吹 有喜



双葉社刊

四日市市が舞台の青春小説『犬がいた季節』 刊行記念トークイベント＆サイン会が開催されました

11月3日(祝)、伊吹有喜さんの小説「犬がいた季節」の刊行記念トークイベントとサイン会が四日市商工会議所で開催され、大勢の人でにぎわいました。

「犬がいた季節」は四日市市を舞台に、平成元年から平成12年の間に卒業した高校3年生たちの姿を鮮やかに切り取った連作小説。受験を控え、多感な時期を過ごす18歳の心の揺らぎや希望が鮮明に綴られています。

作者の伊吹さんは四日市高校出身。小説に登場する高校「八稜高校」は四日市高校がモデルで、犬の「コーシロー」も昭和49年から昭和60年まで四日市高校で実際に生徒たちと過ごしていた「コーシロー」がモデルとなっています。



トークの相手は四日市高校在校生

トークイベントに参加した四日市高校の在校生からは「とても優しく、高校生という時

間の大切さを教えてくれるような本でした」といった感想が聞かれました。

作中には市内の風景がいくつも描かれています。本を手にとって、四日市市の風景を思い浮かべながら、また、懐かしいあの頃を思い出しながら小説の世界に浸ってみてはいかがでしょうか。



●散策マップ

観光協会、観光交流課(市役所7階)などで配布しています。



<作者紹介>

伊吹有喜(いぶき・ゆき)

1969年尾鷲市生まれ四日市市育ち。三重県立四日市高校出身。著書に「四十九日のレシピ」「ミッドナイト・バス」など多数。近著に2020年上半年期直木賞候補作となった「雲を紡ぐ」がある。

2016年から四日市市観光大使。自身の活動の中で、四日市市の魅力などを広くPRしていただいている。

CTY(地デジ12ch)で放送中
「ちゃんねるよっかいち」

「小説『犬がいた季節』の
舞台をたどる」



12月21日(月)～31日(木)放送
月・水・金・日曜日
9:30～9:45、20:30～20:45
火・木・土曜日
12:30～12:45、20:30～20:45